

(載)

而レテ社内ニテハ該制度改革ニ相当好感ヲ有シ或ハ  
他ヨリ援助者ノ出ル事アルヤモ計ラレト一般ニ  
樂觀セルモノ、如ク比較的平靜ニ業務ニ従事シツ、  
アリタリ

一方前記十二名ハ被解雇直後京橋區南鍋町一ノ一銀  
座ホラルニ本部ヲ置キ策動シツ、アリシカ世日ニ至  
ル内數名ハ長谷川ヲ訪ヒ給料支拂ヒニ停滯位シタル  
モ長谷川ハ言テ左右ニシテ是ニ應ヤ不遂ニ物令レト  
爲リタルカ世一日ニ未拂給料千二百圓中五百八十圓  
ヲ支拂ヒ殘余ハ金策出資次第支拂ヲ請フ給シタリ一  
方他ノ社員職工ニモ金權ニ率ニテ支拂ヲ爲シ一時小

セントレタルニ荒木ハ之ヲ肯ヤ即時現金ニテ支拂  
方ヲ主張シ遂ニ感情問題ニ亘リテ激論ヲ闘シ長谷川  
ハ「斯ク遂讓歩スルモ尚且自説ヲ固執スルニ於テハ縱  
令暴力ニ訴ヘラル、モ致シ方ナシ」ト放言シタルニ十  
二名ハ其言ヲ誤解シ長谷川ハ暴力ヲ背影トシテ吾等  
ニ迫ルト稱シ連袂シテ社ヲ出テ當廳ニ出頭シ告訴セ  
ントレタルヨリ社ニ於テハ措置ヲ難シトナシ政治部  
長山口和三郎外編輯部員十二、三名各方面ニ奔走諒解  
ヲ得ルニ努メタリ

翌廿八日ニ至リ十二月十五日ニ支拂ヲ予定ナリシ給  
料支拂ニ充ツル爲メ長谷川ハ若干金ヲ懐中シテ出社  
シタルカ「万朝報社」ノ問題ハ單リ自己一人ニテ負担ス